

新会員になられた皆様へ

経済学部同窓会会長 住野 公一



皆様。ご卒業おめでとうございます。どうか、社会で活躍される事をお祈りします。

実社会に出られてこれからは本当の『勉強』です。学校での勉強は基礎的な学問ですが、実社会での勉強は本当に色々なケース、状況、タイミングにより課題は様々です。それを一つ一つ解き明かし正しい答えを導き出す事、これが実社会かと思えます。常に正しい答えだと思っても、人によって問題の捕らえ方が違ったり、問題の本質が隠されていて見えなかったりして正解をいつも導き出せるとは限りません。また、正解が一つであるということもありません。色々な正解があるのが世の中です。そして正解が示されるのは何年も経過した後、歴史が答えてくれます。自分が出した答えが正しいだろうかと煩悶する事も多いかと思えます。しかし、正解がわからないから答えを出すことを躊躇する事は避けなければいけません。その時点で自分なりの答えを出す事が大事かと思えます。経験の有り無しや、年齢、

職位によってためらったり後ずさりしてはいけません。

迷ったり、躊躇したりしたときに貴方を勇気付けたり光を投げかけたりするのが同窓会や校友会のメンバーだと思えます。困ったときには、まず、校友会、同窓会の門を叩いて下さい。皆様を温かく迎えてくれます。

さて、同窓会では卒業生同士の交流はもちろん、在学生への支援についても積極的に行っております。2013年度には新たに就職活動応援企画『メントレ』への支援も始まりました。今後も同窓生と在学生とのつながりを大切に、立命館大学経済学部を盛り上げていきたいと考えております。

皆様のご卒業されて社会に出た後も、立命館大学経済学部へのつながりを強く持って頂きたいと思うとともに、経済学部同窓会を通じた同窓生同士の交流や在学生の支援・協力をお願いしたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

経済学部の2013年

経済学部長 松原 豊彦



卒業生のみならずには日頃から経済学部へ温かいご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。経済学部を卒業して新たに会員になったみなさんにお祝いを申し上げます。

学部同窓会の新たな活性化に取り組むために、役員会においてこの間精力的に議論を重ねてきました。ゼミ、クラブ、サークル、社会人卒業生など多様な軸による同窓会、東京圏における卒業生の増加をふまえた各地域の集まりなどのアイデアが検討されています。この間学部同窓会から卒業生の集まりに対して補助をさせていただいております。こうした支援を大いに活用していただき、卒業生の交流の輪を広げていただければ幸いです。

特筆すべきは、在学生の就職活動支援に対して物心両面の支援をいただいたことです。さる1月10日、11日に経済学部生の就職活動支援企画「メントレ」を学部主催で開催しました。エポック21を会場に3回生150名、卒業生80名が2日間にわたり仕事・キャリアを考え、本番さながらの真剣な模擬面接を行いました。立命館大学では初めての取り組みであり、大きな反響をよび成功したのは、卒業生の協力があったのと感謝しています。経済学部同窓会からは東京等から参加する卒業生への旅費補助をいただきました。厚く御礼申し上げます。就職活動支援企画を今後継続的に取り組むことになっております。新卒業生の皆様のご協力・ご支援をいただければ幸いです。

さて、経済学部では2016年を目処に学部新展開に向けた検討を進めております。これまで社会科学系大規模学部として果たしてきた役割や教学上の到達点をふまえて、より質の高い教学と社会的貢献をめざして新たな展開をはかるものです。経営学部が2015年大阪茨木キャンパスに移転予定であり、経済学部はBKCにおける社会科学教育の中心拠点として、また滋賀県・草津市等地域との連携においていっそう重要な役割を果たすことが期待されています。学内では経営移転後BKCにおいて「食」を総合的・包括的に学ぶ文理融合型新学部の検討を進めており、そこでの連携を進めつつ経済学部としての新展開をはかりたいと考えております。

そこでは、①モチベーション重視の初年次教育、②4年間を通した小集団教育と卒業研究、③「国際人養成プログラム(仮称)」等進路・キャリアを見据えた教育プログラムの新設、④産業界・地域との連携強化、⑤就職・キャリア教育の抜本的強化、などを柱として検討しております。さきに実施した就職活動支援企画「メントレ」は、学部新展開構想の先行実施でもあります。

卒業生のみならずとの絆をいっそう強くするとともに、経済学部の教育・研究成果を国内外で発信し、大学の社会的役割を發揮していく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。



経済学部就職活動応援企画『メントレ』を経済学部同窓会が支援！

2014年1月11日(土)、12日(日)の2日間、びわこ・くさつキャンパスにて経済学部同窓会の支援により経済学部独自の就職活動応援企画『メントレ』が開催されました。

経済学部就職活動応援企画『メントレ』では、「なぜ学ぶのかを考えることは、自分を考えることであり、それは、なぜ働くのかにつながる」をコンセプトに、2013年度から開始した学部生の就職活動を支援する取り組みです。

全国から約70名のOBOGが講師として集まり、個人面接、集団面接、ディスカッションを通して、就職活動を開始した学生に働くことの意味と自己の価値を社会のなかでどのように活かすかについて真剣に考えてもらうことを目的に開催しました。

2日間にわたるグループワークや面接、ディスカッションを通して、多くの学生が自己分析、志望動機の見直しを行い、自分自身そして働くことや社会について、とことん考え抜く貴重な機会となり、後輩の在学生支援の充実を目指してきた同窓会としても、在学生の就職活動に対して良いお手伝いが出来ました。

最後に行われた結団式では、住野同窓会会長から「自分自身を良く知り、自分が会社、社会にどのような貢献ができるのかを考えて、就職活動に臨んで欲しい。身に付けた知識、経験は誰も奪えない。自分を磨き、より良い仕事を作り出して欲しい。」という激励の言葉をいただき、参加者全員の想いが一体化するなか、フィナーレを迎えました。

経済学部就職活動応援企画は次年度以降も継続して開催される予定であり、同窓会も引き続き支援を行っていきます。



経済学部同窓会企画講演会を開催！

2013年10月26日(土)、ホテルグランヴィア京都にて150名を超える参加者が集い、経済学部同窓会の講演会が開催されました。

講演会では、日本経済新聞社の代表取締役社長・会長を歴任され、現在、日本経済研究センター代表理事である杉田亮毅氏をお迎えして、「アベノミクスと日本の将来」をテーマに日本経済の状況を政治や外交問題を交えて分かりやすく講演していただきました。

今回の講演会は、日本経済に精通されている講師から、時宜にかなったお話をいただき、多くの参加者から高い関心を集め、講演後も活発な意見が交わされた充実した講演会となりました。

今後も同窓会では、このような講演会を開催していく予定です。2014年度は11月下旬から12月上旬で予定しておりますので、皆様のたくさんのご参加をお待ちしております。



杉田亮毅氏 略歴

生年月日

昭和12年7月19日長崎県出身

学歴

昭和36年3月横浜国立大学経済学部卒業

職歴

昭和36年4月 日本経済新聞社入社東京本社編集局に配属

昭和46年9月 ワシントン特派員

昭和59年3月 東京本社編集局経済部長

平成2年3月 取締役東京本社編集局長

平成12年3月 代表取締役副社長

平成15年3月 代表取締役社長

平成20年3月 代表取締役会長

平成23年3月

取締役会長

平成24年3月

参与

平成24年5月

(公社)日本経済研究センター代表理事・会長
(日本経済新聞社 参与 兼任)

平成11年～15年

公益社団法人 日本記者クラブ 理事長

平成20年～

公益財団法人 日本舞台芸術振興会 理事

平成23年～

公益社団法人 日本将棋連盟 理事

平成25年～

財団法人日本相撲協会横綱審議委員会 委員

【受章】

平成18年

ドイツ連邦共和国功勳章大功勞十字章 受章

平成18年

イタリア共和国功勳章

平成19年

グランデ・ウッフイチャーレ章 受章

フランス国家勳章

レジオン・ドヌール勳章オフィシエ 受章

ゼミ同窓会を行いました

2013年度寄せられたゼミ同窓会のご報告の中から、一部をご紹介します。

第6回 島田ゼミ同窓会

2013年10月13日(日)、東京品川の「WATERLINE Floating Lounge」で第6回島田ゼミ同窓会を開催しました。毎年、同窓会は関西で行っていましたが、今回は場所と雰囲気を変え品川で開催。それに関わらず、遠い方は韓国から参加いただき、島田ゼミ1期生から8期生のゼミ生総勢30名が島田先生を囲みました。

同窓会では、それぞれの近況を報告しあったり、ゼミでの思い出話に花を咲かせました。また各期ゼミ生の縦のつながりを深めるために、名刺交換会や立命館大学に関連するクイズ企画などの催しで盛り上がり、世代を超えた交流ができました。あつという間の時間でしたが、学生時代に戻ったかのように、懐かしく楽しい時間を全員で共有することができました。その後の2次会もほぼ全員参加でより一層と親睦が深まったのではないかと思います。

お忙しいなか各地から集まってくださったゼミ卒業生の皆さまに感謝するとともに、次回来年の同窓会も楽しみにしています。(古川 知美)



有志の会 ある同窓会風景 —54年前の卒業生から—

皇太子(現、天皇陛下・皇后陛下)ご成婚パレードが華々しくテレビ放映され小売店からテレビ受像機の在庫を一掃したと言われ、空前の大ヒットを記録した「黒い花びら」を唄う水原弘が第1回レコード大賞を授与された年が卒業した昭和34年・1959年でした。あれから54年!アツ云う間に半世紀が過ぎ去りました。平成21年3月校友会より、思いもかけぬ卒業50周年記念招待会のご招待に与り出席した経済学部出身の同期生は4学部(当時は、経・法・文・理工の4学部でした)のうち最高の88名を数え、うち34名が第一回「有志の会」(京都)をスタートさせました。

「有志の会」はゼミや研究会などの枠を超え広く参加を呼び掛け50年振りに顔を合わせた仲間であり、50年も出逢っていなかったことが不思議なことのように感じました。第2回目は23名参加(平成23年、大阪)、今回の第3回目(大阪)は遠く福岡県から2名など22名が集合しました。出席者は喜寿を迎えた年齢層の老人ばかりで近況報告の話の中身に明るい話題を期待するのは無理な相談でした。町医者気分よろしくヤマイ話に熱弁をふるう人、孫自慢に生き甲斐を見つけた人など普通の老人会と変わらないようですが時間を忘れる程の盛り上がりを見せ校歌も歌いました。広小路時代に学び今日の立命館大学の発展にいささかなりとも寄与したと密に自負する同期生の結束は強固なものがあります。一般的には解散する年齢になって新たに発足させた「有志の会」には解散の文字は禁句のようです。2年おきの開催を考え直してほしいとの希望もあり、更に広げ継続開催を目指し目前の80歳、いや元気な90歳台を迎えたいと思います。立命館大学経済学部、恩師同期諸兄、家族など、多くの方々へ感謝の心を持ちつづけていと願う今日この頃です。(片山 尚夫)



第2回 経済学部 紀國洋ゼミ同窓会

2013年6月22日(土)に紀國ゼミ同窓会を開催いたしました。2008年卒の一期生から現3回生の六期生まで、合計41人が参加しました。

紀國洋教授の乾杯で会が始まり、立食形式にて、同期同士での交流や、先輩・後輩の枠を超えた交流が広がる歓談タイムを過ごしました。その後、一人ずつ自己紹介を行い、それぞれの近況報告を行い、転職した者、結婚した者がいるなど、皆の近況の変化に盛り上がりました。会の後半では、催しとしてジャンケン大会を実施し、様々な景品を狙い、一同白熱した場面となりました。

遠方では愛媛、沖縄、中国からの参加者もあり、数年ぶりに参加したゼミ生もありました。各期の久々の仲間との再会で、思い出話に浸る者、先輩に就職活動や社会人生活の悩みを聞いてもらってる者など、貴重な時間をフルに活用し、各々にとって非常に充実した会にすることができました。(小林 弘典)



川本ゼミ旅行報告

第6回「川本ゼミ旅行」を2013年5月25日(土)、26日(日)の一泊二日、奈良市内観光と三笠温泉宿泊で実施した。私達のゼミ旅行は、第1回を京都で実施して以降ゼミナリストの出身地で開催してきた。今回も奈良県出身者が幹事を担当し、参加者も会を追う毎に増え過去最高の12名の参加者の予定であった。ところが、我々団塊世代も65歳前後になってくると「勤続」疲労で体調を壊す仲間が出始め2名欠席。また、現役で頑張っている仲間も会議のスケジュール調整ができず合計3名が欠席となった。当会「盛会」の源は、川本先生がお元気なことである。今回も当初は翌日、「山の辺の道コース」のハイキングであったが「幾らなんでも83歳の先生にはご無理だろう・・・」と唐招提寺、薬師寺見学に変更したのであった。(尤も、お寺の境内の先頭を歩かれるのは先生だったが・・・)

懇親会の席上、川本先生を囲んだゼミ旅行を通してゼミナリストの懇親の場、情報交換等末永く親睦を深めていくため校友会に団体登録することで出席者の賛同を得た。

次回は2年以内を目途に名古屋出身者を幹事に下呂温泉、高山での開催で盛り上がり、最後に今回の幹事としてご足労をお掛けし、肺腺ガンの抗がん剤治療中の仲間に対し早期再会を祈念し『寄せ書き』を行った。(池田 直)



経済学部より

【新任教員】

2014年4月より経済学部以下に以下の専任教員をお迎えします。

氏名	任用職名	主な担当予定科目
野村 良一	教授	ミクロ経済学
青木 芳将	准教授	経済戦略論
高野 剛	准教授	社会政策

【退職教員】

2014年3月末をもって以下の教員が退職されました。

氏名	主な担当科目
小池 洋一	開発経済学
松川 周二	経済戦略論
横山 政敏	労働経済論

2014年4月より、小池先生、横山先生は、本学特別任用教授として在職されます。

【卒業証明書・成績証明書が必要な方は…】

下記「経済学部事務室」の窓口で発行いたしております。また、郵送でのお申込み受け付けています。郵送の場合は、「**証明書交付願**」（様式は下記ホームページよりダウンロードしてください）に「**証明書発行手数料**」（郵便切手又は定額小為替をお願いします）、「**返信用封筒**」（送り先記入・切手貼付）、「**ご本人を確認できる書類**」を同封のうえ、下記「経済学部事務室 証明書発行係」までお申してください。

- ① 氏名・ふりがな ③ 卒業年月、学部・学科 ⑤ 必要な証明書の種類と枚数 ⑦ 厳封の要否
② 生年月日 ④ 連絡先住所・電話番号 ⑥ 使用目的（簡単に結構です）

※ 証明書はできる限り日程に余裕をもってご請求いただきますようお願いします。英文表記による証明書や学力に関する証明書等は、一定日数を要する場合もございます。

※ 手数料は一通につき300円です。

※ 詳しくはHPでもご案内しています。 <https://alumni-ritsumei.jp/form/index.html>

同窓会事務局より

同窓会費の納入方法について

同窓会は、皆様から納入された終身会費（¥10,000）で運営しています。入会を希望され、会費をまだ納入されていらっしゃらない方は、同窓会事務局までご連絡ください。

住所変更された方は……

会報の送付先の変更は、立命館大学校友会（TEL：0120-252-094、FAX：0120-252-095）までご連絡ください。同時に校友会誌「りつめい」の送付先変更もさせていただきます。

【お知らせ】

※本誌は皆様の掲示板でもあります。各ゼミ同窓会や個人の近況・情報等、どのような内容でも結構です。事務局までお寄せいただければ、掲載させていただきます。

※同窓会に対するご質問・ご希望がございましたら事務局までご連絡ください。

【『学生時代の思い出』を募集します!!】

皆様の学生時代の思い出や近況報告等を執筆いただき掲載する、『学生時代の思い出』を募集しております。これは、「原稿執筆者それぞれの学生時代の思い出を振り返ることにより、その時代時代の社会情勢や風潮、大学や経済学部を取り巻く環境、学生像などを顧みること」を目的に出版された『50周年の思い出』の続編にあたるもので、広く経済学部同窓生の皆様より原稿を募集したいと考えております。掲載ご希望の方は以下の要領にて事務局までお送りください。

- ① 原稿（学生時代の思い出や近況報告等、2,000字程度）
- ② 経歴（生年月日、卒業年、勤務先等、可能な範囲で結構です）
- ③ 写真（可能でしたら、学生時代と現在の2枚をお送りください。使用後、返却させていただきます）

頂戴いたしました原稿は、経済学部同窓会HPにも掲載させていただきます。

立命館大学経済学部同窓会事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学経済学部事務室内
TEL:077-561-3940 FAX:077-561-3947
E-Mail: ecalumni@st.ritsumei.ac.jp
経済学部同窓会 HP: <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ec/dousoukaihp/web/index.html>
経済学部 HP: <http://www.ritsumei.ac.jp/ec/>
経済学部 Facebook: <https://www.facebook.com/econ.ritsumeikan>
経済学研究科 HP: <http://www.ritsumei.ac.jp/gsec/>
経済学部同窓会のHPが出来ましたので、是非ご覧ください。